

令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT を活用し手本となる動画を見て動きをイメージして運動したり、技能習得をスマールステップで行ったりすることで、体育授業に対して、9割の児童が肯定的な思いをもち、取り組んでいる。
- ・ストレッチを取り入れることで、柔軟性が全体的に向上した。

(2) 課題

- ・ボール運動、器械運動では、個々の運動経験等による技能差が大きくなってきた。
- ・敏捷性等の全学年の共通課題、「体力低下」に対する具体的な指導の改善。

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・走る、跳ぶ、投げる、転がる、のぼる、ぶら下がる、バランスをとる、用具を操作する等の運動を、年間を通してバランスよく経験できるようにする。・友達のよい動きを見つけたり、こつを聞いたりしながら、各運動のポイントとなる動きを知り、取り組むことができるようとする。	<ul style="list-style-type: none">・場の設定を工夫し、児童が各自の課題に合わせて、自ら場や技を選べるようにする。・ペアやグループの活動を設定し、自分の工夫や考えを伝えたり、友達のよさや課題に対してアドバイスしたりして、表現し合うことができるようとする。	<ul style="list-style-type: none">・安全に運動に取り組めるようにするために、学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。・スマールステップで個に応じた目標を設定し、運動する楽しさを味わえるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・学年の技能到達目標を明確にし、運動のめあてを立てやすくする。・1つの技や動きを細分化し、個の技能に応じて、スマールステップで目標を立て、技能を習得していくけるようとする。	<ul style="list-style-type: none">・チームで取り組むゲーム運動や教え合う活動を積極的に取り入れ、作戦を話し合ったり、動きのポイントを教え合ったりしながら学習を進められるようとする。・学習用タブレットを活用し、手本となる動きと比べながら、お互いの技を見合ったり、アドバイスしたりする場を設定する。・学習カードを活用して、めあてに沿った振り返りをし、自分の学習の様子や次時の取組を考えられるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・安全に運動に取り組めるようにするために、学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。・スマールステップで個に応じた目標を設定し、運動する楽しさを味わえるようにする。・習得したい技能に応じて、各自でめあてをもたせたり、チームで相談してめあてを設定させたりして、仲間と共に意欲的に、粘り強く運動に取り組めるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学年の技能到達目標を明確にし、運動のめあてを立てやすくする。 ・運動の特性に応じた技能のポイントを明確にして自分の課題に合った場で活動したり、互いに教え合ったりすることができるようになる。 ・1つの技や動きを細分化し、個の技能に応じて、スマーローステップで目標を立て、技能を習得していくようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な課題に応じた練習の場を設定し、自分に合った練習ができるように環境を整える。 ・学習用タブレットを活用し、お互いの技を見合ったりよい動きを共有したりする教え合う場を設定する。 ・一人一人が練習方法を工夫したり、チームで作戦を考えたりできるよう、学習カードを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に運動に取り組めるようにするために、学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。 ・スマーローステップで個に応じた目標を設定し、運動する楽しさを味わえるようにする。 ・作戦会議や教え合う活動では、自分の考えを発信するだけでなく、相手の意見を認める気持ちを育て、ともに粘り強く技能向上を目指せるような態度を育てる。